株式会社日本バイアウト研究所

Japan Leveraged Finance Conference in 東京
『日本の LBO ファイナンス』出版記念シンポジウムのご案内

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。この度、2017 年 12 月に株式会社きんざいから刊行されます『日本の LBO ファイナンス』の出版を記念して、Japan Leveraged Finance Conference in 東京を開催することになりましたのでご案内させて頂きます。

近年、M&A(mergers & acquisitions)に加え、バイアウトの手法が企業価値向上のための選択肢として認識されつつあります。また、大企業の事業再編や中堅・中小のオーナー企業の事業承継にバイアウトの手法が活用されるケースが増えています。そして、資金調達の観点から、シニア・ローンやメザニン・ファイナンスを含む LBO ファイナンスの重要性が高まってきました。そこで、本シンポジウムでは、日本の LBO ファイナンスの現状について解説し、課題や将来展望についての討論を行います。

大手銀行、信託銀行、保険会社、ノンバンク、地方銀行などの金融機関の方々やプライベート・エクイティ・ファームの方々にご参加賜れば幸いです。

開催要領

【日時】
2017 年 12 月 21 日（木）11:00～16:45（10:20 受付開始）

【場所】
大手町サンケイプラザ（東京都千代田区大手町 1-7-2）4 階ホール

【参加費】
1 名 38,000 円（税込）

【参加対象】
・大手銀行、信託銀行、証券会社
・保険会社、ノンバンク（財務部、ストラクチャード・ファイナンス部、経営企画部など）
・地方銀行（法人営業部・営業統括部などのシンジケート・ローン担当部署、審査部、リスク統括部、経営企画部など）
・プライベート・エクイティ・ファーム（バイアウト、メザニン、ファンド・オブ・ファンズ）
・M&A アドバイザリー・ファーム、弁護士、会計士、税理士

【お申し込み方法】
申込書での FAX 送信か Web サイト上（http://www.jbo-research.com/）で申込書をダウンロードしメール添付で送信下さい。

Lead sponsors

長島・大野・常松 法律事務所 NAGASHIMA OHNO & TSUNEMATSU　MCo　KPMG

Co-sponsors

SMBC 三井住友銀行　MUFG 三菱東京UFJ銀行　MIZUHO みずほ銀行　AOZORA あおぞら銀行
TOKYO STAR BANK 東京スター銀行　新生銀行　MIZUHO みずほキャピタルパートナーズ　Trust Capital　SMFL 三井住友ファイナンス&リース
ANT CAPITAL PARTNERS　INTEGRAL　CLSA CAPITAL PARTNERS　Advantage Partners　TOKIO MARINE CAPITAL 東京海上キャピタル株式会社
Phoenix Capital Group エンデバー・ユナイテッド株式会社　CAS CAPITAL　RJE RISING JAPAN EQUITY　K&C 刈田・アンド・カンパニー Karita & Company,Inc.　iΣ Capital アイ・シグマ・キャピタル株式会社　ANTELOPE CAREER CONSULTING

主催：株式会社日本バイアウト研究所　協力：株式会社きんざい
URL：http://www.jbo-research.com/
【お問い合わせ先】jbori@jbo-research.com（担当：杉浦）

Japan Leveraged Finance Conference in 東京 プログラム

受付開始（10:20）

刊行の背景・内容紹介（11:00-11:20）
株式会社日本バイアウト研究所 代表取締役 杉浦慶一

基調講演（11:20-12:00）
テーマ: 日本のLBOファイナンスの到達地点と次の10年 ～マーケットの成長とともに歩んできた法務アドバイザーの視点から～
長島・大野・常松法律事務所 弁護士 三上二郎氏
長島・大野・常松法律事務所 弁護士 大久保涼氏

＜概要＞
日本におけるLBOファイナンスはその20年の歴史の中で、急速かつ大きな発展を遂げてきた。シニア・デットに加えてメザニン・ファイナンスが一般化し、それらの契約条項も、当初は欧米のプラクティスを輸入したものが、次第に日本のマーケットの特徴、法制度や実務・判例の深化に合わせてローカル化され、日本のマーケット・スタンダードが形成された。他方、近年は、成長機会を求めて海外展開する日本企業が外国企業を買収する資金としてLBOファイナンスを活用したり、グローバル企業が借入人になる例も増加する中、グローバル・スタンダードとの調整が必要となる場面もあり、契約条項の多様化が進行している。シェア・ファイナンス、コーポレート・メザニン、リキャップといった派生的なファイナンスも着実に根を下ろしつつある。本講演では、黎明期からマーケットの成長とともに歩んできた法務アドバイザーの視点から、LBOファイナンスの到達地点と今後について俯瞰する。

休憩（12:00-12:20）

第一セッション（12:20-13:40）ランチセッション
テーマ: バイアウトのファイナンス・ストラクチャー ～デット・プロバイダーとエクイティ・プロバイダーの双方の視点から～
株式会社あおぞら銀行 事業ファイナンス部 担当部長 中里弘樹氏
株式会社新生銀行 スペシャルティファイナンス部長 林邦充氏
アント・キャピタル・パートナーズ株式会社 パートナー 加藤拓氏
インテグラル株式会社 取締役パートナー 水谷謙作氏
CLSAキャピタルパートナーズジャパン株式会社 ディレクター 前田泰典氏
司会者 株式会社 KPMG FAS パートナー 澄川徹氏

＜概要＞
バイアウト案件のストラクチャーの構築は、バイアウト・ファンドのリターンやクロージング後の対象会社の事業運営の自由度に影響を及ぼすため重要なプロセスであり、事業計画に基づくファイナンシャル・プロジェクション・モデルの検証や条件（金利、期間、コベナンツなど）の設定は、特に十分な検討が必要となる。本セッションでは、エクイティを拠出するバイアウト・ファンドとLBOファイナンスを提供する銀行の両方の視点から、バイアウト案件におけるファイナンス・ストラクチャー構築の真髄に迫る。

休憩（13:40-13:55）

第二セッション（13:55-15:00）
テーマ: 日本のメザニン・ファイナンスの進化と発展性 ～市場発展のための課題もふまえて～
MCo株式会社 エグゼクティブディレクター 長田貴男氏
みずほキャピタルパートナーズ株式会社 マネージング・ダイレクター 伊藤聡氏
トラスト・キャピタル株式会社 投資第一部長 野村健氏
司会者 株式会社東京スター銀行 法人金融部門 執行役 宮地直紀氏

＜概要＞
日本のバイアウト案件において、劣後ローンや優先株式などのメザニン・ファイナンスが活用された案件が一定数存在する。また、近年は、M&A・バイアウトのみならず、リキャピタリゼーション、資本増強、設備投資資金・成長資金の調達、中堅・中小のオーナー企業の株主構成再構築などにもメザニン・ファイナンスが活用されており、一種のファイナンス形態として存在感を示している。本セッションでは、有力メザニン・ファンドのプロフェッショナルにより、活用シーンや注力対象を整理した上で、ソーシング、ストラクチャー、リスク・リターンの考え方、さらなる市場発展のための課題についての討論を行う。

コーヒーブレイク（15:00-15:25）

第三セッション（15:25-16:30）
テーマ: 日本のLBOファイナンスの過去・現在・未来 ～投資家層の拡大と実務の高度化に向けて～
株式会社三井住友銀行 ストラクチャードファイナンス営業部 副部長 藤間正順氏
株式会社三菱東京UFJ銀行 フィナンシャルソリューション部 M&Aファイナンス室 次長 神野淳氏
株式会社みずほ銀行 M&Aファイナンス営業部 次長 三澤雄治氏
司会者 MCo株式会社 代表取締役 笹山幸嗣氏

＜概要＞
この20年近い歴史のなかで日本のレバレッジド・ファイナンスは、LBO案件へのファイナンスをメインとしつつ、事業会社が買収主体となるコーポレートM&A、バイアウト・ファンドの投資先企業のレバレッジド・リキャピタリゼーション、スポンサーの出資を伴わない純粋MBOなども含め多数の案件の成立に貢献してきた。現在も、大手銀行、信託銀行、地方銀行、保険会社、ノンバンクなど多数の市場参加者が存在し、各社は組織体制の強化を行い、新たな時代に入ろうとしている。本セッションでは、LBO ファイナンス業務に10年超の経験を有する実務家により、日本のLBOファイナンス人材の育成、シンジケーションにおける投資家層、プライシングとレバレッジ水準、セカンダリー市場などに関するあるべき姿や将来展望を語る。

クロージング・スピーチ（16:30-16:45）
テーマ: バイアウト・ファンドの進化とLBOファイナンス
株式会社KPMG FAS 代表取締役パートナー 知野雅彦氏

＊本プログラムの内容は予告なく変更される場合がありますので予めご了承願います。